

## ▶ 株主メモ

決算期	毎年6月30日
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主確定日	毎年6月30日
	中間配当金を支払うときは毎年12月31日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081 電話0120-232-711(通話料無料) UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞

当社は決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ<http://www.atomlt.com/>に掲載しております。ご参照ください。

## ▶ HOMEPAGE

企業・財務情報をはじめ商品情報・オンラインショップなど、様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。



ホームページアドレス <http://www.atomlt.com/>

住まいの飾り職人  
**ATOM**

アトムリビンテック株式会社

〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL 03(3876)0600(大代表)

## お知らせ

○平成17年10月1日より、当社名義書換代理人は合併により次のとおりとなります。

名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081
同連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店



IR NEWS  
第51期事業報告書  
(平成16年7月1日～平成17年6月30日)

住まいの飾り職人  
**ATOM**  
アトムリビンテック株式会社



経営理念

「住まいの飾り職人」が作り出す  
独創的な商品で、  
社会の発展に貢献します

社訓

「独り歩きのできる商品づくり」

社是

「創意・誠実・進取」

住まいの飾り職人  
**ATOM**  
アトムリビングテック株式会社



創業者は江戸指物（鏡台、茶箆筒、長火鉢等）の金具職人、即ち繊細な装飾と微妙な細工の技術を要する鋳職でした。

社訓は、創業者の遺した言葉に基づくものであります。

「独り歩きのできる商品」とは、販売に際して、巧言令色や誇大な表現を添えずとも「ひと目でその価値が相手に伝わる商品」を指します。

当社の社是は、ご覧の通りですが、企画開発を旨とする企業として「創意・進取」は元より、独り歩きのできる商品であればこそ、販売に際して「誠

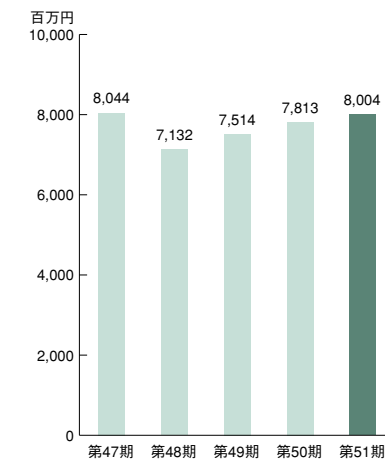
実」が貫き得ると考えております。

また社名の冒頭に冠した「アトム」は設立以来の商標であり、内装金物の分野で、業歴相応の認知と浸透を得ております。

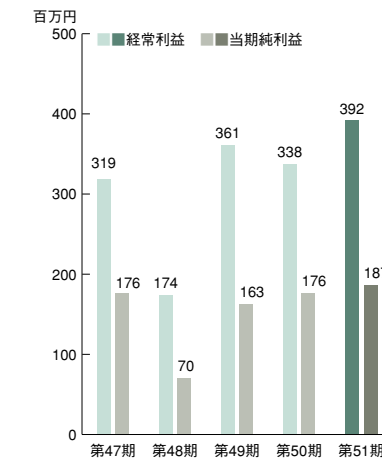
以下に続く「リビングテック」には、ご説明の要も無い「リビングテック」の他に、正しく「技術に生きる＝リブ・イン・テック」の意味が籠められており、併もその技術とは、当社がファブレスメーカーであるだけに、単なるハードウェアのみならず、ソフトウェアをも包含する「ノウハウのメーカー」であり続けたいという思いを表しております。

## 業績の推移

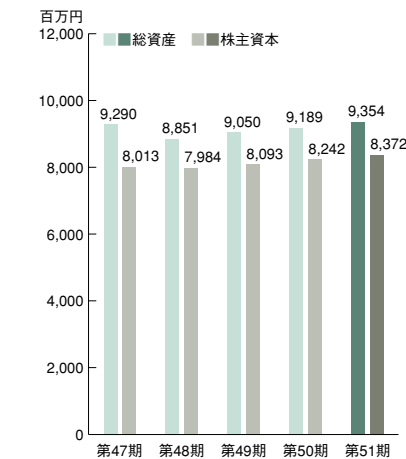
### 売上高



### 経常利益／当期純利益



### 総資産／株主資本



### 主要経営指標

	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
売上高営業利益率 (%)	3.4	1.4	3.6	3.2	3.5
総資本営業利益率〔ROA〕 (%)	2.9	1.1	3.0	2.7	3.0
株主資本利益率〔ROE〕 (%)	2.2	0.9	2.0	2.2	2.3
流動比率 (%)	599.2	665.8	654.1	769.3	804.2
固定比率 (%)	55.1	63.8	60.7	54.4	51.6
株主資本比率 (%)	86.3	90.2	89.4	89.7	89.5
1株当たり株主資本 (円)	1,952.1	1,945.0	1,969.2	2,005.6	2,038.1
1株当たり当期純利益 (円)	43.5	17.3	37.4	40.5	44.2
1株当たり配当額 (円)	17.50	17.50	20.00	20.00	20.00
配当性向 (%)	40.6	101.4	53.4	49.3	45.3

※1. 1株当たり株主資本・1株当たり当期純利益・配当性向  
第49期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。

※2. 1株当たり配当額  
第49期については、普通配当17円50銭に加えて、創業100周年記念配当2円50銭としております。  
第50期については、普通配当17円50銭に加えて、ATOMブランド誕生50周年記念配当2円50銭としております。  
第51期については、普通配当17円50銭に加えて、株式会社法人改組50周年記念配当2円50銭としております。

## オンデマンド事業の推進を通じて お客様と直接結びついた企業の実現を目指します。

### 法人改組50周年を迎えた 第51期の業績はいかがでしたか。

当期の経営環境から申し上げますと、当社の位置する住宅業界は、新設住宅着工戸数において分譲住宅並びに貸家が比較的堅調な推移を見せたものの、持家は住宅ローン減税縮小前の駆け込み需要の反動もあり再び減少に転じたこと、年々強まる傾向にある企業間競争の激化に伴う市場価格の低下傾向に歯止めがかからなかったことなどから、依然として厳しい状況が続きました。

こうした状況の下、当社は中長期的な観点から、商品戦略、市場戦略、情報システム戦略を三つの柱に据え、「安定収益を基盤に新市場への進出」を目指す取り組みを意識的に追求してまいりました。商品戦略では、引き続き原価低減に向けた基盤づくりを強化するとともに、GKインダストリアルデザインとのコラボレーションによる居住空間のトータルデザイン化に向けたATOMブランド再構築、全く新しい発想の下で開発されたフラ

ットタイプの大壁面収納のスライドドア「FSDシステム」、「快適提案品シリーズ」のラインナップ強化と、次世代に向けた商品開発を積極的かつ体系的に展開いたしました。市場戦略では、オンデマンド事業の柱となる「デマンドメーカー」のラインナップに、組み合わせ自由なデザインシステムラック、大型ビルトインタイプ・システム収納ファニチャーを加え、次のステップに向けたベースづくりを着実に推進いたしました。一方、情報システム戦略では、「ERPシステム」のバージョンアップの一環として「WEB受発注システム」の導入に向けた取り組みをスタートさせるとともに、「オンラインショップ」の充実を図りました。

こうした取り組みの結果、当期の売上高は80億4百万円（前年同期比102.4%）、経常利益は3億92百万円（前年同期比115.8%）と増収増益を達成いたしました。なお、当期純利益は1億87百万円（前年同期比106.4%）となっております。

### 当期の業績を どのように評価されていますか。

創業100周年に当たる第49期は「インテリア・マーケットプレイス」構想の推進、ATOMブランド誕生50周年に当たる第50期は「ATOMブランド再構築」の推進と、2010年を次のマイルストーンとする長期経営計画の段階的な戦略的展開を行ってまいりました。第51期は、法人改組50周年に当たることから、時代の変化に即応できる部門再編成と次世代を担う人事異動に取り組みました。現在、新体制の下で事業活動を行っておりますが、意識的なテーマの追求や原点に立ち返った日常業務の推進など、基本を大切にしつつ新風を組織に送り込むことが出来、一定の成果を上げつつあります。なんとといっても、こうした組織活性



代表取締役社長 高橋良一

化への積極的な取り組みが大きな要因としてあげられると思います。第49期から当期にいたるまで展開してまいりました周年記念事業の集大成が、現在建設中の「CSタワー」であり、長期経営計画でいうところの「飛躍の時期」を切り開く魁にしたいと考えております。

また、これまで商品戦略、市場戦略、情報システム戦略として取り組んできた経営施策が有機的に結びつくことによって、「安定収益を基盤に新市場へ進出」する上で、相乗効果を発揮しはじめていることにも注目していただきたいと思います。特に、それぞれの戦略推進で培ってきたノウハウやナレッジが集積され、活用されることで、当社の総合力を発揮できる基盤が確固としたものになってきたことが、当期の業績に反映されたと確信いたしております。

### 今後の取り組みについては、 どのようにお考えですか。

第52期は、長期経営計画における「試行の時期」の最終年度にあたります。当社の10年後、20年後を考えたとき、今年は大きな節目の年になることは間違いありません。こうした観点から、「試行の時期」の取り組みを目に見える形で実現したいと思います。

まず、オンデマンド事業の核となる「デマンドメーカー」が新しい段階に入っていきます。従来はパソコンに専用ソフトをダウンロードしてお客様にご利用いただいておりますが、今後はWEB上ですべてが完結する仕組みづくりを提供してまいります。また、価格面においても、既成家具の価格でミリ単位のオーダーメイド家具を提供すべく、全力を挙げて取り組んでおります。

また、「WEB受発注システム」の導入にも着手しており、B to Bのビジネスにおいて、お客様の利便性と受発注の効率化を第一に考えたシステムを提供してまいります。

このほか、環境管理規格であるISO14001の認証取得に向けて活動を開始いたしました。この認証取得により、住宅業界に位

置する当社の社会的責任を全うするとともに、企業体質のさらなる強化を図ってまいります。

前期から取り組んでおります「CSタワー」でございますが、平成18年秋の竣工を目指して順調に建設が進んでおります。今後、オンデマンド・インテリア市場の創出に向けた取り組みを具現化した「CSタワー」を拠点に、総合インテリアサプライヤーとして業容の拡大を図ってまいります。

こうした取り組みを通じて、私たちの長年の夢であるお客様と直接結びついた企業の実現を目指してまいります。

### 株主の皆様へのメッセージを お願いします。

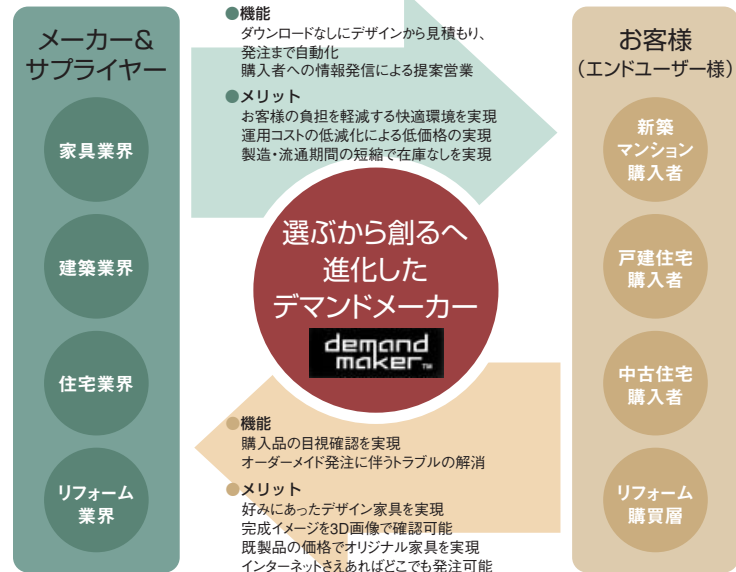
将来にわたり、恒常的に利益を創出し続けること、すなわち株主価値の最大化を図ることが、当社の使命であると考えております。こうした観点から、一層の原価低減と業務の合理化に努めるとともに、オンデマンド事業をはじめ、すでに具体的な引き合いが多く寄せられ、収益の純増が早期に見込める投資案件に対して、前向きかつ機動的に対応するなど、「新分野・異分野の開拓」を積極的に展開してまいります。なお、来期は新たなビジネスモデルの確立に向けた積極的な取り組みなどにより、売上高、経常利益とも増加を予想しているものの、事業用土地及び建物の減損損失を計上するため、当期純損失となる見込みでございます。株主の皆様方におかれましては、当社の経営方針に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、積極的な配当の継続に努めてまいりました。当期は、1株につき17円50銭の普通配当に加え、法人改組50周年を記念し、1株につき2円50銭の記念配当を実施いたしました。過去3期にわたり、記念配当を含め1株につき20円の利益配当を行ってまいりましたが、来期からは1株につき20円の普通配当を実施する予定でございます。

今後も、当社は、さらなる株主価値の増大に向けて、全力を挙げて業務の遂行に邁進してまいります。

# Demand Makerは進化する

2004年5月、当社は、「選ぶ」から「創る」へ」をコンセプトに、  
家具の設計・注文がインターネット上で行える  
オンデマンド型システム「デマンドメーカー」のサービスを開始いたしました。  
以来、ラインナップの充実と使い勝手やコストパフォーマンスの向上など、  
お客様の「欲しい」を実現する仕組みづくりに取り組んでまいりました。  
今秋、さらなる進化を遂げた「デマンドメーカー」が登場します。



## 1>> 完全WEB対応で使い勝手が向上

これまでの「デマンドメーカー」は、パソコンに専用ソフトをダウンロードしてお客様にご利用いただいております。今後は専用ソフトをダウンロードすることなく、WEB上で、設計から3Dによる完成イメージの確認、見積もり、注文にいたるまでのすべてが完結するため、使い勝手が格段に向上します。

## 2>> ミリ単位での完全自由設計が可能に

これまでの「デマンドメーカー」は、家具メーカーによってカスタマイズに一定の制限がありました。今秋登場する「デマンドメーカー」では精度がさらにアップし、ユニット、パーツ、幅・高さ・奥行など、最小1ミリ単位でのカスタマイズが可能になり、本当に欲しいオリジナル家具がお届けできるようになります。

## 3>> 豊富な製品ラインナップ

これまでの「デマンドメーカー」では、素材や色などに限りがありました。進化した「デマンドメーカー」では、素材メーカーとのタイアップにより順次、色、柄のラインナップを追加予定。豊富なバリエーションからお選びいただくことができるようになります。進化した「デマンドメーカー」は、住む人の顔が見えるインテリアづくりに最適のソリューションです。

## 4>> 低価格・短納期の実現

「デマンドメーカー」は、既製品の価格でオーダーメイドのオリジナル家具を実現することを目指しています。国内家具メーカーとの提携強化により、リーズナブルな価格で、工場直送のオリジナル家具を実現。また、注文からお届けまで、大幅な納期短縮（基本仕様で約1週間）も実現いたします。

## 5>> 国内木工産業の振興

多くの家具メーカーが生産拠点を海外に移転する中、国内木工産業は危機に瀕しています。「デマンドメーカー」は、低価格・短納期を実現するとともに、高度な品質管理を実現するため、国内限定生産となっています。こうした内需の拡大により、国内木工産業を振興するうえでも大きな役割を果たします。

## 6>> ムダを省いて環境保全に貢献

「デマンドメーカー」が完全オーダーメイドによる受注生産のため、大量生産に伴う在庫が発生しません。したがって、家具の原材料となる木材をムダにすることなく、効率的に生産することができます。今後とも、「デマンドメーカー」は、環境に優しい、21世紀における家具のあり方を追求します。

### 「デマンドメーカー」、ODRS協議会特別賞を受賞

2005年3月1日から東京ビッグサイトで開催された、日本経済新聞社／財団法人・店舗システム協会主催「第34回店舗総合見本市「JAPAN SHOP 2005」」で、「デマンドメーカー」が、ODRS（オンデマンド・リテイルソリューション）協議会特別賞を受賞いたしました。また、主催者特別展示ブースに出展し、「デマンドメーカー」のプレゼンテーションをさせていただきました。



財務諸表

貸借対照表

科目	期別	前 期 (平成16年 6月30日現在)	当 期 (平成17年 6月30日現在)
(資産の部)			
流動資産		4,703,570	5,030,741
現金及び預金		1,596,787	1,556,985
受取手形		1,156,133	1,170,800
売掛金		970,377	1,030,421
有価証券		315,800	598,100
商品		613,890	633,860
貯蔵品		25,931	—
前渡金		—	9,187
前払費用		24,785	28,496
繰延税金資産		8,765	2,288
その他		9,212	15,375
貸倒引当金		△ 18,113	△ 14,773
固定資産		4,485,748	4,324,076
有形固定資産		2,930,047	2,982,695
建物		829,941	765,871
構築物		2,210	1,989
車輛及び運搬具		1,366	819
工具器具及び備品		131,293	231,479
土地		1,965,235	1,965,235
建設仮勘定		—	17,300
無形固定資産		79,945	95,447
ソフトウェア		75,424	70,587
電話加入権		4,521	4,521
ソフトウェア仮勘定		—	20,338
投資その他の資産		1,475,755	1,245,933
投資有価証券		1,334,452	1,099,648
出資金		1,200	1,200
長期貸付金		34,865	31,786
破産更生債権等		23,305	16,854
長期前払費用		1,839	1,843
繰延税金資産		51,501	50,431
敷金保証金		52,193	61,237
貸倒引当金		△ 23,602	△ 17,067
資産合計		9,189,319	9,354,818

POINT

**現金及び預金**  
現金及び預金は、前期末に比べ39百万円の減少となりました。主な理由はキャッシュ・フローのコメントをご参照ください。

POINT

**工具器具及び備品**  
GKインダストリアルデザイン社とのコラボレーションにより企画開発された「CASARL」シリーズなどの金型投資を行い、前期末に比べ100百万円増加しました。

POINT

**建設仮勘定**  
CSタワー（新橋垂吐夢金物館ビル跡地）の建設に伴って17百万円計上しました。

POINT

**ソフトウェア仮勘定**  
WEB受発注システムのソフトウェア開発費用を20百万円計上しました。

(単位：千円)

科目	期別	前 期 (平成16年 6月30日現在)	当 期 (平成17年 6月30日現在)
(負債の部)			
流動負債		611,414	625,557
買掛金		431,596	437,858
未払金		32,369	78,504
未払費用		30,436	30,766
未払法人税等		70,325	37,783
未払消費税等		21,222	3,199
前受金		—	11,628
預り金		25,465	25,815
固定負債		334,958	356,423
退職給付引当金		177,466	189,619
役員退職慰労引当金		156,491	165,804
その他		1,000	1,000
負債合計		946,372	981,980
(資本の部)			
資本金		300,745	300,745
資本剰余金		273,245	273,245
資本準備金		273,245	273,245
利益剰余金		7,581,296	7,676,998
利益準備金		43,189	43,189
任意積立金		6,081,916	6,081,916
土地圧縮積立金		81,916	81,916
別途積立金		6,000,000	6,000,000
当期末処分利益		1,456,191	1,551,892
株式等評価差額金		87,659	121,849
資本合計		8,242,946	8,372,837
負債及び資本合計		9,189,319	9,354,818

- (注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 前 期 2,218,109千円 当 期 2,288,848千円  
 3. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額 前 期 87,659千円 当 期 121,849千円

(単位：千円)

科目	期別	前 期 (自平成15年7月1日 至平成16年6月30日)	当 期 (自平成16年7月1日 至平成17年6月30日)	
営業損益の部	営業収益	7,813,864	8,004,324	
	売上高	7,813,864	8,004,324	
	営業費用	7,566,345	7,727,074	
	売上原価	5,689,744	5,864,301	
	販売費及び一般管理費	1,876,600	1,862,773	
	営業利益	247,518	277,250	
	営業外損益の部	営業外収益	95,941	121,939
		受取利息・配当金	23,823	23,177
		有価証券売却益	21,135	64,625
		有価証券償還益	13,590	903
仕入割引		23,683	24,466	
その他の営業外収益		13,709	8,764	
営業外費用		4,981	7,109	
有価証券売却損		3,875	—	
有価証券償還損		1,105	7,109	
経常利益		338,479	392,080	
特別損益の部	特別利益	77	85	
	固定資産売却益	77	85	
	特別損失	33,351	84,586	
	固定資産売却損	2,975	—	
	固定資産除却損	2,654	68,774	
	役員弔慰金	—	11,400	
	社葬費用	14,060	4,412	
保険積立金超過保険料	13,661	—		
税引前当期純利益	305,204	307,579		
法人税、住民税及び事業税	161,314	135,696		
法人税等調整額	△ 32,565	△ 15,918		
当期純利益	176,455	187,801		
前期繰越利益	1,314,628	1,398,983		
中間配当額	34,892	34,892		
当期末処分利益	1,456,191	1,551,892		

損益計算書

POINT

**固定資産除却損**  
CSタワーの建設に伴う建物（新橋垂吐夢金物館ビル）の除却損14百万円および建物解体費用46百万円が含まれています。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前 期	当 期
		(自 平成15年7月1日 至 平成16年6月30日)	(自 平成16年7月1日 至 平成17年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		321,639	219,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		636,882	△ 176,982
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 81,972	△ 82,158
現金及び現金同等物の増加(△減少)額		876,549	△ 39,801
現金及び現金同等物の期首残高		720,237	1,596,787
現金及び現金同等物の期末残高		1,596,787	1,556,985

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT

#### 営業活動による キャッシュ・フロー

主に税引前当期純利益が307百万円あったこと、増収による売上債権の増加が68百万円あったことにより、219百万円の資金を得ることができました。

### POINT

#### 投資活動による キャッシュ・フロー

主に有形固定資産の取得による支出が155百万円あったことにより、176百万円の資金を使用しました。

### POINT

#### 財務活動による キャッシュ・フロー

配当金の支払のため、82百万円の資金を使用しました。

#### 【重要な会計方針】(当期)

- 有価証券の評価基準および評価方法
  - その他有価証券
    - 時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
    - 時価のないもの…移動平均法による原価法
- 棚卸資産の評価基準および評価方法
  - 商 品……………移動平均法による原価法
- 固定資産の減価償却方法
  - 有形固定資産……………定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
    - 建物及び構築物 6～47年
    - 工具器具及び備品 2～20年
  - 無形固定資産……………定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。
  - 長期前払費用……………定額法を採用しております。
- 引当金の計上基準
  - 貸倒引当金
    - 売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
  - 退職給付引当金
    - 従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく自己都合による期末退職金要支給額から特定退職金共済及び適格退職年金の年金資産を控除した額を計上しております。
  - 役員退職慰労引当金
    - 役員の退職慰労金の支払に備えるため、内規に基づく期末要支給額を商法施行規則第43条の引当金として計上しております。
- リース取引の処理方法
  - リース物件の所有権が借主に転移すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- 消費税等の会計処理
  - 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

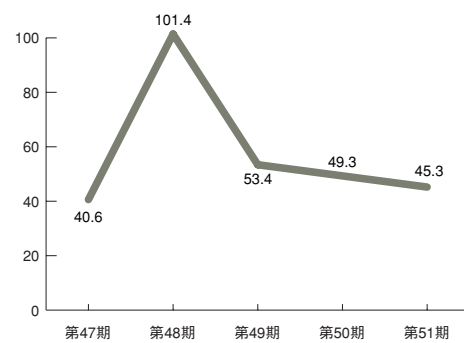
## ■ 利益処分

(単位：円)

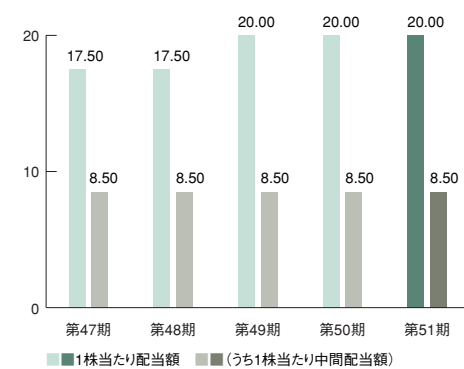
科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	1,551,892,987
上記金額を下記のとおり処分いたします。	
配 当 金 (1株につき普通配当9.00円、 株式会社法人改組50周年記念配当2.50円)	47,207,500
役 員 賞 与 金 (うち監査役 1,400,000円)	6,500,000
次 期 繰 越 利 益	1,498,185,487

(注) 平成17年3月11日に、34,892,500円(1株につき8円50銭)の中間配当を実施いたしました。

### 配当性向 (%)



### 1株当たり配当金 (円)



## ■ 株式の状況

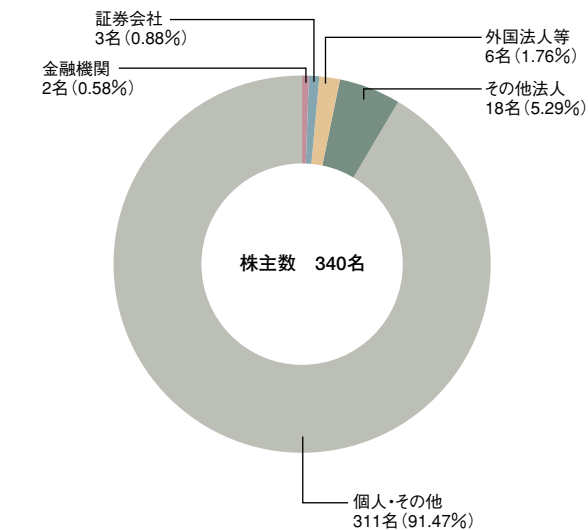
(平成17年6月30日現在)

会社が発行する株式の総数	15,420,000株
発行済株式の総数	4,105,000株
株主数	340名
大株主(上位10名)	

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
高橋不動産株式会社	985,440	24.00
高橋良一	860,000	20.95
アトムリピンテック従業員持株会	320,560	7.80
高橋快一郎	171,000	4.16
高橋寿子	146,000	3.55
アトムリピンテック取引先持株会	127,000	3.09
高橋良男	120,000	2.92
バンクオブニューヨーク・シーエムクライアントアカウントイーアイエスジー	108,000	2.63
大塚弥寿男	88,000	2.14
磯川産業株式会社	79,000	1.92

## ■ 株主の所有者別分布状況

(平成17年6月30日現在)



## ■ 会社概要

(平成17年6月30日現在)

商 号	アトムリピンテック株式会社
創 業	明治36年
設 立	昭和29年10月
事 業 内 容	家具用金物・建具用金物・陳列用金物等、住まいの金物全般の企画・開発・販売
主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社UFJ銀行
従 業 員 数	114名(嘱託1名・パート17名含まず)

## ■ 役員

(平成17年6月30日現在)

代表取締役社長	高橋良一
取 締 役	吉倉良治
取 締 役	後藤厚
常 勤 監 査 役	橋本政義
監 査 役	岸田充雄

## ■ 事業所一覧

本 社	〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号	TEL 03-3876-0600
ATOM - CDセンター (商品本部)	〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎町1336-4	TEL 0489-22-5551
札幌営業所	〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東3丁目28番32号 井門札幌東ビル1F ※平成17年7月11日より開設。	TEL 011-748-3113
前橋営業所	〒371-0805 群馬県前橋市南町3丁目72番7号	TEL 027-223-2651
広島営業所	〒733-0031 広島県広島市西区観音町16番地9	TEL 082-291-4235
ショップ&ショールーム 亜吐夢美術館	〒105-0023 東京都港区西新橋2丁目22番1号 サンツー森ビル1F ※建屋新築のため、平成16年10月5日より仮ショールームとして営業中。	TEL 03-3437-3440
ATOM住まいの金物ギャラリー大阪事業所	〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18番地5	TEL 06-6821-7281